

第18期 わくわく同窓会活動計画 (2021.4~2022.3)

1. 山の辺のみち散策 (上) 6月13日 (日)
石手寺~護国神社 約5km
2. " (下) 9月26日 (日)
護国神社~比翼塚 約5km



3. 忽那七島クルージング 11月21日 (日)
中嶋汽船のフェリーで周遊しながら歴史を学ぶ



淡路ヶ岬 標高273m

4. 淡路ヶ岬登山 3月27日 (日)

伊藤博文と淡路ヶ岬 (標高差220m、道程約1000m)

この山には400年程前に道後湯築城(現在の道後公園)の砦があった。砦の城主は林淡路守通起という人だったので、その名前から淡路城といった。そこから淡路城がある山ということで淡路ヶ岬とか淡路山と言うようになった。この林淡路守通起の11代目の子孫が伊藤博文である。

1909年(明治42年)伊藤が松山に道後温泉に入りに来たときは、淡路ヶ岬を麓から見上げて「来年、先祖の供養をしたい」といったという。なぜそのとき登らず来年といったのかは解らない。しかし、その年に伊藤はハルビンで朝鮮民族主義活動家の朝鮮人・安重根に暗殺されてしまった。